

社会資本総合整備計画（第1回変更）

本庄駅周辺拠点整備計画

平成29年11月27日

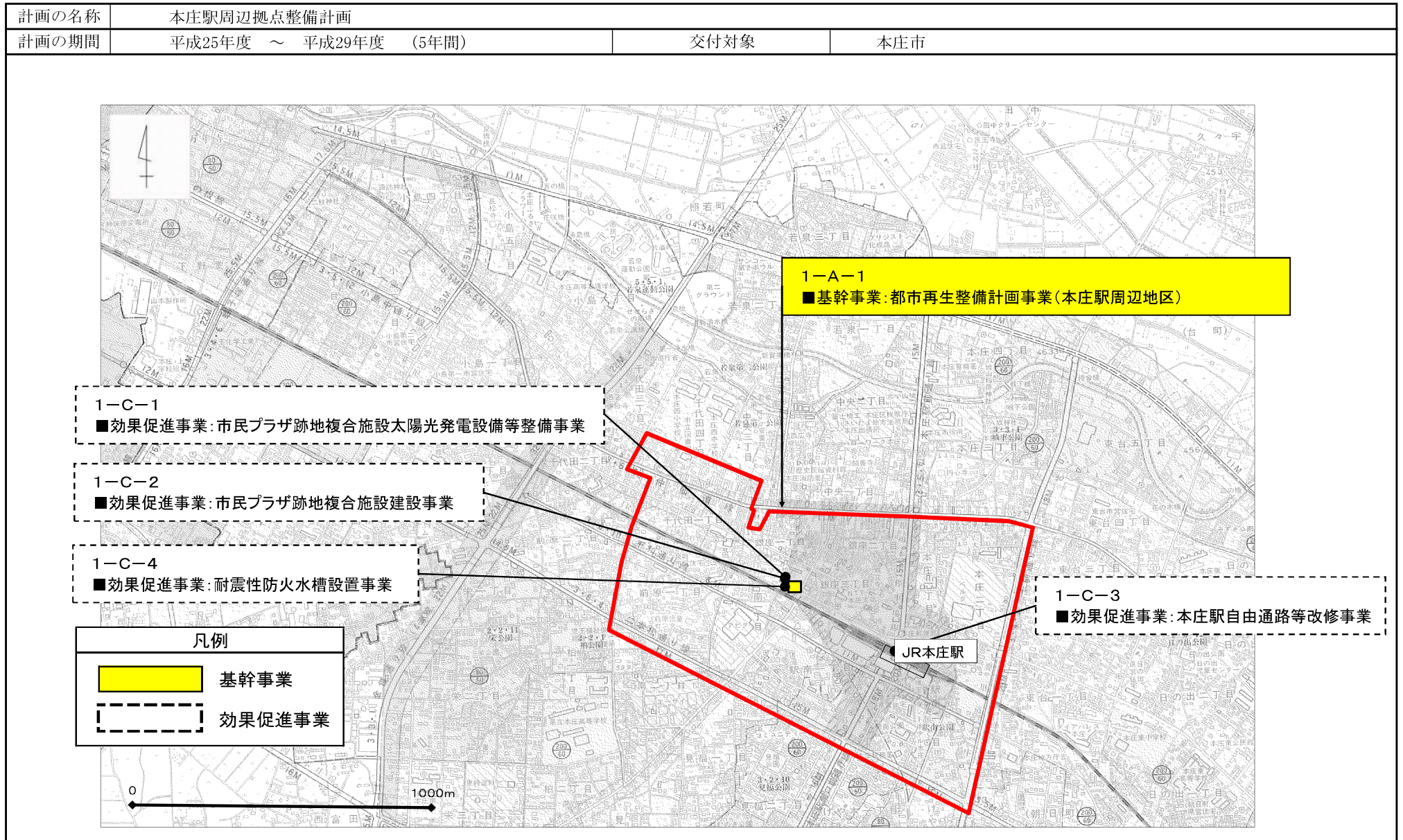
埼玉県本庄市

社会資本総合整備計画（市街地整備）

平成29年11月27日

計画の名称	本庄駅周辺拠点整備計画										重点配分対象の該当																		
計画の期間	平成25年度～平成29年度（5年間）					交付対象	本庄市																						
計画の目標	<p>本庄駅周辺を中心とした交通利便性の高い市街地に、子育て世代から高齢者まで多彩な年代の定住化を促し高水準な都市を再構築するため、安全で安心して暮らせるまちづくりを目指すとともに、市民活動や生涯学習を通じて居住の安心を提供し、高質な空間・施設の整備により回遊・滞在の楽しさを感じることでできるまちづくりを推進し「まちなか再生」を図る。また併せて、環境に配慮したまちづくりを実施することで将来に渡って持続可能な都市を構築する。</p>																												
計画の成果目標（定量的指標）	<ul style="list-style-type: none"> 市民交流施設の利用状況を、市民プラザ（H23取り壊し）及び機能を統合する中央公民館とコミュニティセンターの年間利用者数の合計139,283人（H22）と比較して、市民プラザ跡地複合施設における利用者数を150,000人（H29）に増加させる。 都市再生整備計画（本庄駅周辺地区）の区域内の人口の合計を5,748人（H23）から5,800人（H29）に増加させる。 																												
定量的指標の定義及び算定式	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">定量的指標の現況値及び目標値</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>当初現況値</th> <th>中間目標値</th> <th>最終目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>市民交流施設の年間利用者数：市内の主な市民交流施設の各種貸室の年間利用者数</td> <td>139,283 (H22)</td> <td>-</td> <td>150,000 (H29末)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>都市再生整備計画（本庄駅周辺地区）の区域内の人口：町丁字別人口の合計数</td> <td>5,748 (H23)</td> <td>-</td> <td>5,800</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>												定量的指標の現況値及び目標値			備考	当初現況値	中間目標値	最終目標値	市民交流施設の年間利用者数：市内の主な市民交流施設の各種貸室の年間利用者数	139,283 (H22)	-	150,000 (H29末)		都市再生整備計画（本庄駅周辺地区）の区域内の人口：町丁字別人口の合計数	5,748 (H23)	-	5,800	
	定量的指標の現況値及び目標値			備考																									
	当初現況値	中間目標値	最終目標値																										
市民交流施設の年間利用者数：市内の主な市民交流施設の各種貸室の年間利用者数	139,283 (H22)	-	150,000 (H29末)																										
都市再生整備計画（本庄駅周辺地区）の区域内の人口：町丁字別人口の合計数	5,748 (H23)	-	5,800																										
全体事業費	合計 (A+B+C+D)	2,615百万円	A	2,239百万円	B		C	376百万円	D	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	14.4%																		
交付対象事業																													
A 基幹事業																													
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	費用便益比	個別施設計画 策定状況	備考												
									H25	H26	H27	H28	H29																
1-A-1	都市再生	一般	本庄市	直接	本庄市	本庄駅周辺地区都市再生整備計画事業 (地方都市リノベーション事業)	図書館改修等	本庄市						2,239	-	-													
									合計					2,239	-	-													
B 関連社会資本整備事業 (該当なし)																													
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	費用便益比	個別施設計画 策定状況	備考												
									H25	H26	H27	H28	H29																
									合計																				
番号	一体的に実施することにより期待される効果										備考																		
C 効果促進事業																													
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	備考														
									H25	H26	H27	H28	H29																
1-C-1	施設整備	一般	本庄市	直接	本庄市	市民プラザ跡地複合施設太陽光発電設備等整備事業	太陽光発電設備等の整備	本庄市						13															
1-C-2	施設整備	一般	本庄市	直接	本庄市	市民プラザ跡地複合施設建設事業	PRコーナー、個別学習ルーム等の整備	本庄市						132															
1-C-3	施設整備	一般	本庄市	直接	本庄市	本庄駅自由通路等改修事業	耐震診断、設計、リニューアル工事、オープンスペース増築	本庄市						225															
1-C-4	施設整備	一般	本庄市	直接	本庄市	耐震性防火水槽設置事業	耐震性防火水槽の整備	本庄市						6															
									合計					376															
番号	一体的に実施することにより期待される効果										備考																		
1-C-1	基幹事業で整備する地域交流センターと一体で整備を行うことで、持続可能な環境共生都市（エコタウン）の構築を推進する。																												
1-C-2	基幹事業で整備する地域交流センターと一体で生涯学習機能・福祉支援機能・情報発信機能等を有する部屋の整備を行うことで、多彩な年代の利用者の利便性の向上を図る。																												
1-C-3	老朽化の進んでいる駅自由通路の耐震補強を含むリニューアル工事を実施することで、安心・安全な施設とするとともに、リニューアルにより高質な空間を生み出し、市内の施設案内や観光PR等の情報発信の掲示スペースを設けることで、基幹事業で整備する施設利用促進を図り、かつ、インフォメーションセンターオープンスペースの増築等により、駅周辺の回遊を促し「まちなか再生」に寄与する。																												
1-C-4	基幹事業で整備する地域交流センター敷地内に、大規模災害や震災用の耐震性防火水槽を設置することで防災機能を高め、安全で安心して暮らせるまちづくりに寄与する。																												
D 社会資本整備円滑化地籍整備事業 (該当なし)																													
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (面積等)	市町村名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	備考														
									H26	H27	H28	H29	H30																
									合計																				
番号	一体的に実施することにより期待される効果										備考																		

参考図面(社会資本整備総合交付金 市街地整備)



都市再生整備計画(第2回変更)

本庄駅周辺地区
(地方都市リノベーション事業)

埼玉県 本庄市

平成29年11月

・様式は、A4長辺側を、2箇所ホチキス留めすること。

様式1 目標及び計画期間

都道府県名	埼玉県	市町村名	ほんじょうし 本庄市	地区名	ほんじょうしちゆうかいちく(地方都市リノベーション事業)	面積	102	ha
計画期間	平成 25 年度 ~ 平成 29 年度	交付期間	平成 25 年度 ~ 平成 29 年度					

目標

- 大目標: 子育て世代から高齢者まで、多彩な年代の定住化を促すまちづくり
 目標1: 市民活動や生涯学習等の推進により、市民がいいきと暮らすことのできる環境づくり
 目標2: 子どもからお年寄りまで、幅広い年齢層の交流がはかられる心豊かなまちづくり
 目標3: 公共施設等が連携し、それぞれの機能を補完しあうコンパクトなまちづくり

目標設定の根拠

都市全体のリノベーション方針(都市構造再編を図るため、都市機能の拡散を防止する等の公的不動産のマネジメントも取り組みを含む)
 ・本市では、少子高齢化の進行による人口全体の自然減に加え、とりわけ20歳代～30歳代前半の年齢層については、過去5年間に10ポイント以上の減になっており、定住人口の増加が喫緊の課題となっている。総合振興計画後期基本計画では、「本庄早稲田の社地区」を広域拠点、「本庄駅周辺地区」を中心拠点、「児玉駅周辺地区」を地域の拠点として定め、「新たな市街地と既存市街地の相互連携による発展」を目指す方向としている。また、本市の公共施設(建築物)の約7割は、建築後30年以上経過しており、耐震や大規模な改修が必要な施設が多いことから、施設の統廃合を含め、持続可能な規模に整理した上で予防的な修繕や耐震改修を進めていくことが求められている。今後は、3つの拠点の性格に応じた、まちなかへの都市機能の集約配置を進め、まちづくりの核となる公共施設は、広大な駐車場が確保できる郊外への安易な立地を抑止し、公共交通でアクセスできるエリアへの立地を推進する。特に、既存市街地については、公共施設等を交流拠点とし、交通の利便性と歴史や伝統を活かしながら回遊性の向上を図り、賑わいのあるまちなみを再生し、幅広い年代の定住化を促していく。

まちづくりの経緯及び現況

- ・本市は、東京から80km圏、埼玉県の西北に位置し、面積は89.71km²、人口は約8万人である。東は深谷市、西は上里町・神川町、南は美里町・長瀬町・皆野町、北は利根川をはさんで群馬県伊勢崎市に接している。JR高崎線、八高線、上越新幹線、関越自動車道本庄児玉インターチェンジや国道17号・254号・462号などの主要道が縦横に走り、東京と上信越方面を結ぶ交通の要衝となっている。
- ・本地域は、一日平均の乗車人員が1万人を超えるJR本庄駅から徒歩で行動可能な圏内であるが、既存市街地には空き店舗や空き家が目立ち、周辺部分の古くからの住宅地についても、生活利便性の低下とともに居住人口の減少が進んでいる。
- ・本地域には、生涯学習の拠点である図書館があるが、開館後31年が経過し、建物の劣化が進んでいることや、内部仕様の制約などから多様化する市民ニーズに応えることが難しい状況になっている。また、市民が様々な活動に利用していた市民プラザが、東日本大震災の影響で平成23年に取り壊され、都市機能が年々低下している。
- ・古くからの住宅が建ち並ぶ地域も多く、敷地が狭い、狭隘道路が多い、権利関係が複雑であるなどから住宅の建て替えも進まない状況が続いていたが、最近では地域内で、閉鎖した会社や商店の跡地などを活用した民間による小規模な開発の事例がみられるようになり、駅への利便性を活かした住宅開発も始まっている。
- ・本地域と隣接する若泉地区では、市民の憩いの場となる公園や運動施設、歴史資源の活用等をはかる「若泉地区都市再生整備計画」が進められており、その計画と連携したまちづくりが求められる。
- ・本地域は、中山道最大の宿場町として栄えた時代の蔵や、藪の集散地として賑わった当時の歴史的建造物等も数多く残り、住民との協働により、歴史や伝統を活かしながら回遊性の向上を図り、賑わいのある町並みを再生する取り組みも推進している。

課題

- ・図書館の再生…昭和56年に建設された図書館本館は、建物全体にひび割れがみられ、各所で雨漏りが発生し、機械・設備も老朽化している。図書館は、生涯学習の拠点施設であるとともに、次世代の育成、あらゆる世代の市民が訪れる多世代交流施設としての整備が待たれており、早急な対応が求められている。図書館の充実を望む市民の声も多く、機能充実のための改修工事や必要とされる耐震補強等を行い、図書館を都市再生の中核施設として再生させることが必要である。
- ・市民交流施設の建設…市民プラザの跡地には、市民交流や多種多様な市民ニーズに対応できる「学び」「つどい」「支える」を基本理念とした複合施設を建設し、図書館と連携した様々な事業の相乗効果により既存市街地を活性化させることも求められている。
- ・古くからの市街地であり、住宅が密集している場所も多いため、火災等の災害に対する住民の不安も大きい。また、大規模災害に対して、避難場所の確保や備蓄倉庫、耐震性防火水槽等の整備が必要である。

将来ビジョン(中長期)

- ・住環境整備や協働による市民活動の支援、推進など活力を生み出す取り組みを推進する。公共施設等を交流拠点とし、交通の利便性を活かしながら、賑わいのある町並みを再生し、幅広い世代の定住化を促進する。利便性が高く、相乗効果を得られる施設をコンパクトに配置し、相互に連携させることにより、住民生活の質を向上させ、定住人口の増加を目指す。
- ・図書館や地域交流施設等を利用した市民活動を支援し、市民の活力を生み出す取り組みを進める。
- ・若泉地区都市再生整備計画との関連も考慮し、本庄駅周辺地区全体として、公共施設等を交流拠点とし、歴史や伝統を活かしながら賑わいのある町並みを再生し、居住促進を図る。
- ・本事業により整備する地域交流施設(市民プラザ複合施設)については、ほんじょう祭り等の各種まつりやイベント等の会場としても活用することを計画しており、市民の交流と憩いの場所として、また、市内観光の情報発信、七福神や近隣文化財の散策コースの拠点としての活用を図る。

リノベーション事業の計画

都市機能配置の考え方

・土地利用規制が緩やかな周辺部へと市街地が拡散する傾向が見られる中、本市では、新たな市街地と既存市街地の3つの拠点地域の相互連携により都市の再生を目指している。拠点地域のうちでも既存市街地である本地区に「中心拠点区域」を設定し、住民にとって利便性が高く、幅広い世代の相互交流が図れる多彩な公共施設を配置することで地域の賑わいを創出する。一方、農村・山村集落地域については、拠点地域にアクセスしやすい環境の充実に図り、森林・田園地域については、無秩序な市街地拡散を抑制し、農業生産力等の維持に努める。

・本市の公共施設の状況は、図書館をはじめ、建築後30年以上経過し大規模な改修が必要な施設が多いことから、今後、施設の統廃合を含め維持可能な数に整理していく公共施設のマネジメント計画を策定する。計画は、公共交通などの社会サービス、多様な都市活動が効率的・安定的に展開できるよう「集約型都市構造」への転換を考慮し策定する。地域交流施設(市民プラザ跡地複合施設)は、策定中の計画において、その先導的役割を果たす施設と位置付けている。

目標を達成する上で必要な「地方都市リノベーション推進施設」「生活拠点施設」の考え方(民間事業者による事業継続の見込みや民間事業に対する行政の支援等を含む)

・市立図書館の再生と機能の強化…図書館は、生涯学習と知的研鑽、世代間交流、健全な次世代育成を推進し、地域の文化を創造して活力のある社会を実現できる機能を持つ施設であるが、現在の市立図書館は昭和56年11月の開館から築31年を経過し、各所に亀裂の発生や雨水の侵入など建物が劣化しているだけでなく、館内設備の老朽化も進み、図書館に求められている役割を十分に果たすことができない状況である。次世代育成や世代間交流等の機能を拡充するための図書館改修工事(耐震補強工事を含む)を実施することにより、図書館を地域社会再生の中核施設に位置付け、活力あるまちづくりを目指すものである。

地方都市リノベーションに必要となるその他の交付対象事業等

・リノベーション推進施設である図書館の再構築に合わせて、中心拠点区域内の市民プラザ跡地に7つの機能(生涯学習機能、市民活動推進機能、健康づくり・子育て・福祉支援機能、多世代交流機能、展示・情報発信機能、イベント会場機能、防災機能)を備えた地域交流施設を建設し、企画展や読書講座、文芸講演会などの図書館事業や図書館と連携した様々な事業を実施することにより、地域全体で生涯学習や世代間交流を深め、賑わいを創出し、活力ある地域づくりを推進する。

目標を定量化する指標

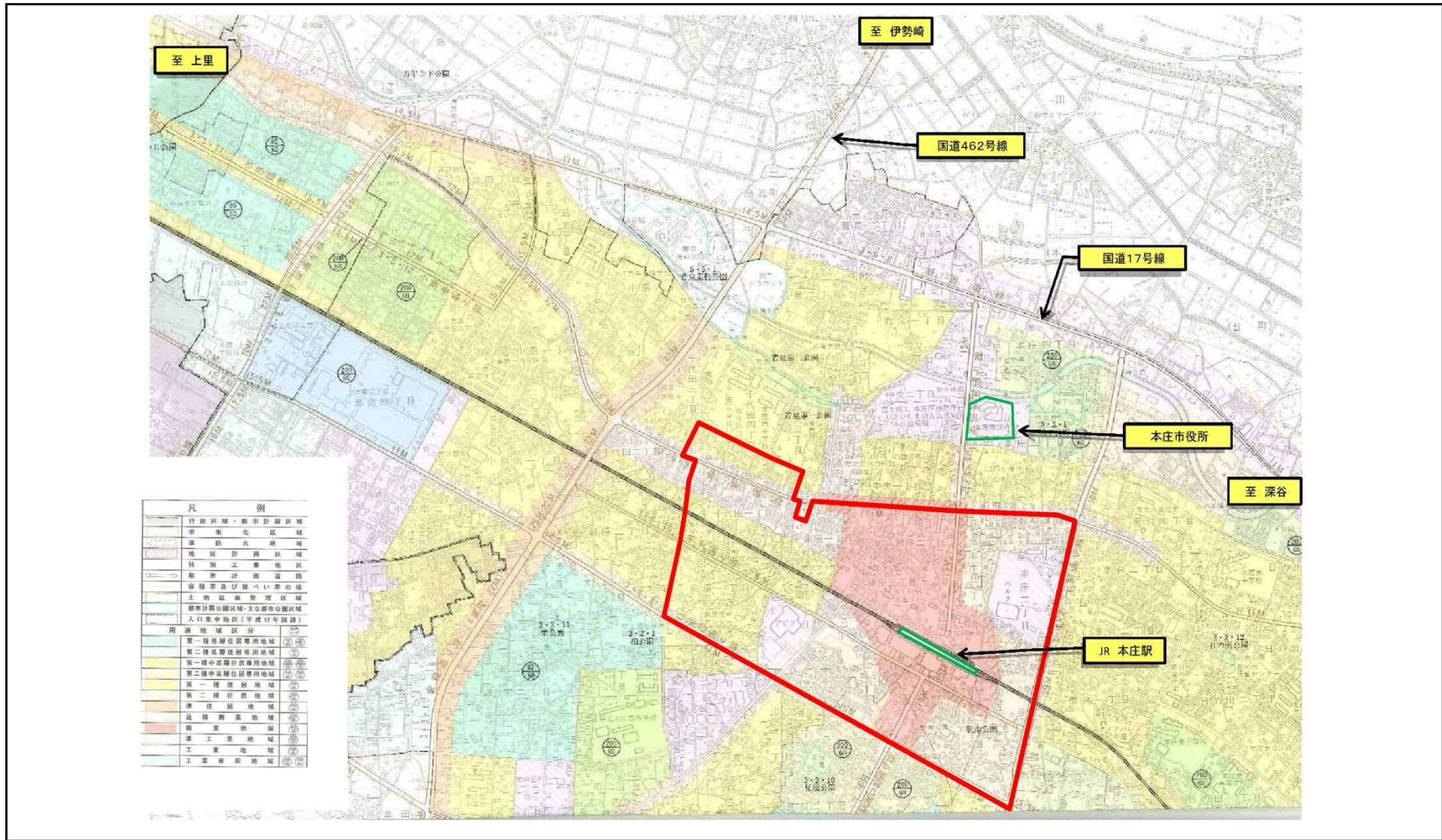
指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値	基準年度	目標値	目標年度
図書館の年間利用人数	人/年	図書館の利用者数	再生事業の実施によって、図書館の活用がどの程度促進されたかを、利用人数の推移によって検証する。	102,029	H23	110,000	H29
市民交流施設の年間利用者数	人/年	市民交流施設にある各種貸室の年間利用者数	市民交流施設の利用状況を、平成23年に取り壊した市民プラザ及び機能を統合する中央公民館とコミュニティセンターの年間利用者数の合計と比較することにより事業効果を検証する。	139,283	H22	150,000	H29
地区内の人口	人	地区内の町丁字別人口の合計数	人口の推移により定住者の状況を検証する。	5,748	H23	5,800	H29

様式2 整備方針等

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<p>整備方針①(本庄市立図書館の再生による魅力あるまちづくり)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本庄市立図書館については、本交付金事業にて、大規模修繕により機能を拡充し、耐震補強や設備の更新、バリアフリー化等の整備も併せて行い、幅広い年代から利用される生涯学習施設とする。 ・市民プラザ跡地複合施設の情報発信スペースや個人学習室、ホールや研修室との連携を図りながら、石川三四郎をはじめ、地域資料のPRや、講演会・研修会・読み聞かせ、個人学習の支援等を図る。 ・子どもの各年代に対応した蔵書の充実やサービスの向上、特に、中学生以上の子どもの利用率を高めるため、中学生や高校生のニーズを把握し、ヤングアダルトコーナー及び、子どもの発達段階やニーズに対応した蔵書の充実を図る。 	<p>○既存建造物活用事業(地方都市リノベーション推進施設):図書館</p>
<p>整備方針②(地域交流施設(市民プラザ跡地複合施設)建設により、市民活動活性化や市民交流の環境づくり)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・世代を超えて多くの人が集い交流する、誰もが利用しやすい複合型施設を市街地の中心部である市民プラザ跡地に整備し、加えて本庄まつり等、各種イベントのメイン会場にも対応できるイベント広場を整備するため、市民交流施設(市民プラザ跡地複合施設)を建設する。 ・多種多様な市民ニーズに対応できる部屋を設置し、団体の専用区分は設けず各部屋を有効活用することで、所属団体にとらわれず分け隔てない交流を推進する。 ・予約なしで使えるテーブル席など、若い世代からお年寄りまで誰もが気軽に立ち寄れるスペースや、山車の展示等、市内外へ歴史・文化など観光の情報発信を行うスペースを設置し、市民活動の拠点としての活用を図る。 ・施設は、災害時の一時避難所としても活用し、施設内に防災倉庫を設けるほか、災害用トイレ、炊き出しスペース等も設ける。 	<p>○高次都市施設(地方都市リノベーション事業):市民プラザ跡地複合施設建設事業</p>
事業実施における特記事項	
<p>○関連事業について 本市では、平成25年度に公共施設マネジメント白書、平成26年度に公共施設再配置計画を策定する。市民交流施設(市民プラザ跡地複合施設)は、すでに公共施設再配置の先導的役割を果たす施設と位置付けられている。また、本市の文化施設の中心的役割を担う本庄市立図書館については、本交付金で整備を行うことで、機能等が充実することにより、平成24年度から平成28年度までの5年間の計画である本庄市子ども読書活動推進計画を推進が図られることとなる。</p> <p>○交付期間中の計画の管理について 目標達成に向けた各種事業の円滑な進行にあたっては、関係部署間の調整会議を随時実施し、情報共有と意見交換を密に図っていくことに加え、広報紙やホームページ等を活用して地域住民への積極的な情報提供を行う。また、ワークショップ等を適宜開催して地域住民との連携を取っていく。</p> <p>○事業終了後の継続的なまちづくり活動 本事業の実施にあたっては、地域住民の積極的な関わりを期待し、情報提供、情報共有、意見交換を図れる場を適宜設けて行く。これを通じ、事業完了後も継続的、あるいは新たな市民交流、市民活動が行われ、多彩な世代が利用し、定住につながるような魅力ある地域になるような環境づくりをサポートしていく。なお、市民交流施設(市民プラザ跡地複合施設)については、市民の自主的な地域活動や相互交流をより一層深めるため、市民主体の管理・運営方法を検討していく。</p>	

都市再生整備計画の区域

本庄駅周辺地区(埼玉県本庄市)	面積	102 ha	区域	本庄市千代田外
-----------------	----	--------	----	---------



本庄駅周辺地区(埼玉県本庄市) 整備方針概要図

目標	大目標: 子育て世代から高齢者まで、多彩な年代の定住化を促すまちづくり	代表的な 指標	図書館の年間利用人数 (人/年)	102,029	(H23年度)	→	110,000	(H29年度)
	目標1: 市民活動や生涯学習等の推進により、市民がいきいきと暮らすことのできる環境づくり		市民交流施設の年間利用者数 (人/年)	139,283	(H22年度)	→	150,000	(H29年度)
	目標2: 子どもからお年寄りまで、幅広い年齢層の交流がはかれる心豊かなまちづくり		地区内の人口 (人)	5,748	(H23年度)	→	5,800	(H29年度)
	目標3: 公共施設等が連携し、それぞれの機能を補完しあうコンパクトなまちづくり							

